

「地域医療連携フォーラム」開催のお知らせ

2019年以来7年ぶりに、「地域医療連携フォーラム」を開催いたします。
多様化・複雑化する地域医療の現状を踏まえ、今後の連携のあり方を多職種の皆様とともに考える機会となれば幸いです。

第47回 地域医療連携フォーラム

不安を、地域でほどく。

— 支え合う医療連携の“持続可能モデル”へ —

2026年 **2月21日(土)** 濟生会熊本病院
15:00～18:30 / 開場 14:00 外来がん治療センター4F コンベンションホール /
予防医療センター6F レストランカーナ

参加費
無料

参加方法

右記二次元コードより事前にお申込ください。

定員:350名 / 締切:2月13日(金)

※定員に達し次第締め切りとさせていただきます



個人
申込用



複数名
一括申込用

第1部

フォーラム 15:00～17:10 / 外来がん治療センター4F コンベンションホール

※演題名は現時点での予定であり、変更になる場合がございます。

- 15:00 **Opening Remarks**
中尾 浩一 濟生会熊本病院 院長
- 15:10 **それぞれの視点で捉える地域医療の現状と課題**
[座長] 坂本 知浩 濟生会熊本病院 副院長
 - Session 1 救急車はどこへ向かうのか — 上益城消防における搬送先の現実 —
緒方 秀一 様 上益城消防本部 警防通信指令課長
 - Session 2 平時から救急まで — 「一生の安心」をどう創るか —
清田 武俊 先生 春日クリニック 理事長
 - Session 3 救えるはずの命をこぼさない — 機能分化で築く救急医療の未来 —
東 謙二 先生 東病院 理事長
 - Session 4 地域多職種協働で、地域医療を支える
谷田 理一郎 先生 谷田病院 理事長
- 16:40 **濟生会熊本病院のこれから**
中尾 浩一 濟生会熊本病院 院長
- 17:10 **Closing Remarks**
坂本 知浩 濟生会熊本病院 副院長

第2部

意見交換会 17:25～18:30 / 予防医療センター6F レストランカーナ

立食パーティー形式でお食事をご準備しております。是非ご参加ください。

お問い合わせ

濟生会熊本病院 地域医療連携室 [担当:緒方・古谷・島本]
〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号 TEL 096-351-8372 / FAX 096-351-8505

[サイクル]

濟生会熊本病院 連携広報誌

vol. 111

2026.January

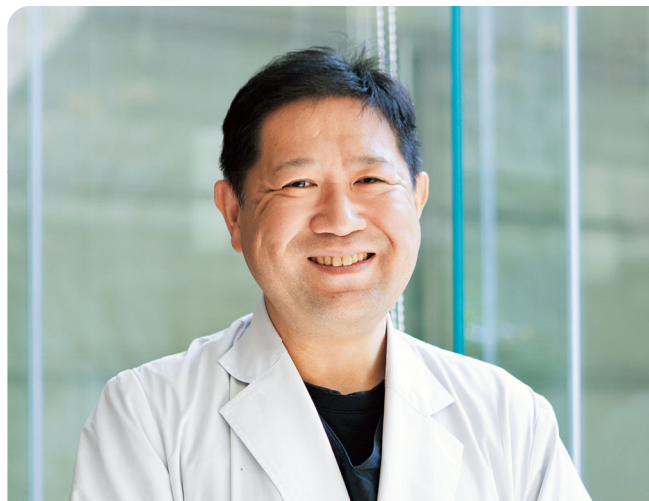
s a i k u r u

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。

濟生会熊本病院
新年のご挨拶

NEW YEAR 2026





地域の皆さまと共に歩む 医療機関として 切れ目のない支援体制を築いていく

上杉 英之

医療連携部長 / 心臓血管外科診療技術教育部長 / 外来運営部長

新年あけましておめでとうございます。平素より地域医療の推進に温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
済生会熊本病院は、「医療を通じて地域社会に貢献します～質の高い医療を済生のこころとともに」という理念のもと、地域の皆さまに寄り添い、確かな医療を提供することを大切にまいりました。急速な高齢化が進む中、複数の慢性疾患を抱える高齢者の増加や、医療と介護の連携強化の必要性など、地域全体で丁寧に向き合うべき課題が一層明らかになっております。こうした状況において、当院が果たすべき役割は、急性期医療の提供に加え、地域の医療機関・介護施設・行政と協調し、切れ目のない支援体制を築くことであると考えております。医療連携部といたしましては、皆さまとの信頼関係を大切にしながら、確実な情報共有、落ち着いた退院支援、多職種協働の促進に努めてまいりました。私自身、地域の皆さまの安心につながる取り組みを一つずつ着実に積み重ねていくことを、今年も変わらぬ姿勢として大切にまいります。
本年も、地域の皆さまと共に歩む医療機関として、その責務を誠実に果たしてまいります。引き続き、変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



医療連携を深化させ 地域で支える医療の実現へ

上川 健太郎

医療連携部 副部長 / 消化器内科副部長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、当医療連携部の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は、地域医療の質向上と患者様の安心を第一に、病院間・施設間の連携強化に取り組んでまいりました。特に、情報共有の迅速化や退院支援の充実など、現場の声を反映した改善を進めることができたのは、皆様のご尽力のおかげです。

本年は、さらに一歩進め、ICTの活用による連携体制の強化、在宅医療とのスムーズな接続、そして多職種協働の推進を重点課題として取り組んでまいります。医療環境は日々変化しておりますが、患者様にとって最適な医療を提供するため、柔軟かつ迅速な対応を心がけてまいります。

引き続き、皆様との信頼関係を大切にしながら、地域全体で支える医療の実現に向けて尽力してまいりますので、本年も変わらぬご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年あけましておめでとうございます。
旧年中は病床運用におけるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
本年も、地域の連携医療機関の皆様や患者さまから信頼され、選ばれる病院であり続けるために、済生会熊本病院の役割をしっかりと果たしてまいります。
また、患者さまに最適な入院環境を提供できるよう、効率的かつ計画的な病床管理に努めてまいります。
引き続き、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

西村 摩里子

看護管理室 室長 / 副看護部長



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。医療を取り巻く環境は、人口減少や高齢化の進展により、地域での包括的な支援体制の強化が一層求められています。患者さんご家族が安心して療養生活を送れるよう、安心・安全な転院・退院調整を徹底し、地域との連携をさらに深めてまいります。また、多職種が協働し、在宅医療の推進や患者中心のケアを通じて、切れ目のない支援体制の構築に努めてまいります。本年も皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

木庭 薫

療養支援室 室長



謹んで新春のお慶びを申し上げます。
当院は「高度急性期医療」に加え、地域の皆さまの「不安に応える医療」の充実を目指しております。
医療連携では、関係する皆様お一人お一人の声を大切にし、互いの立場や状況への理解を深めながら、より良い連携体制の構築に努めてまいります。
また、ぬぐりを大切にしつつ、デジタル化の推進によって地域内の効率化を図ることにも取り組んでまいります。
患者さんのストーリーに責任を持ち、医療を通じて地域社会に貢献していくことが私たちの使命です。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

緒方 洋

医療連携部 部長補佐 / 地域医療連携室 室長 / 医療福祉相談室 室長

済生会熊本病院



新年のご挨拶

NEW YEAR 2026